



## 中小事業者向け脱炭素化支援策

## おおつ環境フォーラム

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向け、我が国では、2021年に地球温暖化対策の推進に関する法律が改正され、2050年までに温室効果ガス（主に二酸化炭素CO<sub>2</sub>）の排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル、いわゆる脱炭素社会の実現が基本理念として位置付けられました。脱炭素社会の実現には、事業者、自治体、国民などあらゆる主体の取り組みが必須です。現在、国内のCO<sub>2</sub>排出量の約7割を占める企業などの事業活動については、大企業やグローバル企業を中心に、ESG（環境、社会、企業統治の重視）の観点やリスク低減と成長のチャンスととらえた取り組みが始まっています。さらに、サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルの達成を目指す動きが大企業を中心に増加しており、その影響は取引先企業にも及び、中小事業者もカーボンニュートラルの取り組みが必須の時代になってきました。

カーボンニュートラルの取り組みは、中小事業者にとっても、例えば、金融機関のESG投資の観点から好条件での資金調達につながることや、脱炭素化への要請に対応することが企業の優位性や競争力の向上につながります。また、光熱費・燃料費など経費の低減にとどまらず、自社の知名度や認知度の向上、社員のモチベーション向上や人材獲得力の強化などにもつながります。

一方で、中小事業者にとって脱炭素化は業務量・資金面で容易なことではありません。このような状況を踏まえ、国や県などでは様々な支援策を用意しています。そこで、大津市地球温暖化防止活動推進センターは、1月19日、「事業者向け脱炭素経営支援セミナー」を開催し、環境省近畿地方環境事務所環境対策課地域適応推進専門官 米田幸生氏、近畿経済産業局新エネルギー推進室室長補佐 廣戸貴義氏、滋賀県産業支援プラザ連携推進部CO<sub>2</sub>ネットゼロ支援室室長 栃尾一紀氏、大津市地球温暖化防止活動推進センター理事 山和孝氏の4氏から、それぞれの中小事業者向けの支援策について講演いただきました。



講演の中で紹介された支援策の一部を、2023年4月現在の情報に更新して以下に記します。

### 中小事業者にとっての脱炭素化とは何かについて

脱炭素化（カーボンニュートラル）に資する取り組みイメージをわかりやすく伝えるリーフレットとして、近畿地方環境事務所と近畿経済産業局が連携して作成した「カーボンニュートラルって何なん？」を右記QRコードまたは下記URLより自由にダウンロードできます。（A3判両面1枚）



<https://www.kansai.meti.go.jp/5-1shiene/cn/pr.html>

カーボンニュートラル達成に向けた取り組みステップを、ステップ0「しる」、ステップ1「はかる」、ステップ2「へらす」、ステップ3「つづける」の4段階に分けて簡潔に解説し、詳しく知るためのリンク先もまとめて紹介されています。

大津市地球温暖化防止活動推進センターは、脱炭素社会に関する情報をわかりやすく解説した小冊子シリーズ「CO<sub>2</sub>排出ゼロへの挑戦」を発行し、無償で配布しています。（p.4参照）



## 自社の脱炭素化に向けての課題を知る

大津市地球温暖化防止活動推進センターでは、中小事業者の脱炭素化や省エネについての問題点や簡単な改善策を見いだすため、当センターが発行する小冊子「事業所の省エネ簡易診断」を利用して「簡易診断」を行っています。身近な相談相手としてお気軽にご連絡ください。この小冊子は無償でお渡しすることもできますので、自ら診断していただくことも可能です（p4参照）。

info@otsu.ondanka.net



## 脱炭素化についての相談窓口

中小事業者の脱炭素化や省エネについての相談には、次のような窓口が設けられています。

- ・ 中小企業基盤整備機構 <https://www.smrj.go.jp/sme/consulting/sdgs/favgos000001to2v.html>  
中小企業・小規模事業者を対象に、カーボンニュートラル・脱炭素に関する相談について、専門家による 事前予約制の無償web 相談を実施しています。



「どのように脱炭素化・省エネに取り組んだらいいのかわからない」「自社のCO<sub>2</sub>排出量を測定したい」「取引先からCO<sub>2</sub>排出量の開示を求められて困っている」「再生可能エネルギーを導入したい」「脱炭素化に活用できる補助金を知りたい」などについて、毎週火曜日と木曜日に経験豊富な専門家が無料でアドバイスをを行います。

ZoomもしくはMicrosoft Teamsを用いたweb会議システムにより、全国どこからでも相談が可能で、何度でも相談することができます。

- ・ 省エネお助け隊（2023年度事業は現在準備中） <https://www.shoene-portal.jp/about/>  
経済産業省資源エネルギー庁の「地域プラットフォーム構築事業」で採択された地域密着型の省エネ支援団体で、診断結果を基に具体的な省エネ取り組みを実行するための支援を行い、更なる省エネの深堀りまでサポートすることができます。



「省エネでコストメリットを出せるってホント?」「省エネって何をどうすればいいかわからないから手付かず…」  
「コストのかかる設備更新はできない!」「省エネをした効果がよく分からないのだけど…」  
「もっと効率的に省エネを進める方法ってあるの?」などについて聞くことができます。

事前の相談は無料で受けることができますが、省エネ診断・省エネ支援にかかった費用については1割の負担が必要になります。

- ・ 滋賀県産業支援プラザ連携推進部CO<sub>2</sub>ネットゼロ支援室 [co2@shigaplaza.or.jp](mailto:co2@shigaplaza.or.jp)  
CO<sub>2</sub>ネットゼロ支援室は、「しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ」を推進するため、県内中小企業の省エネ、再生エネルギーの導入、CO<sub>2</sub>排出削減に向けた製造法・工法開発までの取り組みを支援しています。「エネルギーコストを削減したい」「どのように進めたらよいか」「県の補助金は?」などについてご相談ください。





## 脱炭素化投資に対する助成

脱炭素化・省エネ・創エネに関する補助金や融資優遇策等は以下から参照することができます（一例）。

環境省では、脱炭素化に向けた取組を支援するための補助・委託事業について、補助・委託事業の一覧や申請フロー、活用事例等を掲載した「脱炭素化事業支援情報サイト（エネ特ポータル）」を開設しています。 <https://www.env.go.jp/earth/earth/ondanka/enetoku/index.html>

中小企業者向け「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業（ものづくり補助金）グリーン枠」は、3～5年の事業計画期間内に事業場単位での炭素生産性を年率平均1%以上増加することなどの条件がありますが、従業員数5人以下の企業の場合、補助率2/3で100万円～750万円の補助金を得ることが可能です。 <https://portal.monodukuri-hojo.jp/index.html>

講演で紹介された支援策以外にも、例えば滋賀県ではオンサイトPPAモデルまたはファイナンスリースにより自己資金ゼロで自家消費型太陽光発電等を導入する場合の導入経費の一部について補助金を交付する「ゼロ円ソーラーの導入支援」を開始しています。

<https://zeronavi.shiga.jp/company/subsidy/prefecture/2/>

他にもさまざまな脱炭素化に向けた補助金や融資優遇策等が設定されていますので、ご利用にあたっては前記の相談窓口にご相談ください。



## 英国だより No.7

奥野みどり

<https://www.instagram.com/midori.window.of.opportunity/>

ヨーロッパは夏時間になり夜遅くまで明るくなってきました。英国では待ち望んでいた季節。活動的になります。

今回「地球温暖化について考える」セミナーへ、職場からの案内もあり、平日の夜でしたが参加することに。ボランティア団体が無料で開催していました。いつもは行かない大学キャンパスが会場ということで、ドキドキ。

会場に入ったら一番乗りで、スタッフさんはまだ会場準備中。「早く来すぎちゃいましたか？」と一人に声をかけると、「大丈夫ですよー」と。そのままテーブルに座ることに。

最近イギリスで流行っているセミナー形態「ラウンドテーブル(丸テーブル)」です。ディスカッションしやすいように設計されており、一昔前の、前を向く映画館スタイルから四角いテーブルへ、そして丸型へと進化。

時間になるとゾロゾロ人が入ってきます。私が携帯電話を見ていると、「隣いいですか？」と座ってくる人々が。

そして、時間になると興奮気味の司会者が今日の趣旨を話し、ゲストスピーカー、John Grant 上級講師\* (写真)へ。



会場(Nottingham Trent Univ) John Grant氏

\* <https://www.shu.ac.uk/about-us/our-people/staff-profiles/john-grant>

実は、この方のお話を聞いてみたかったのです。彼は、シェフィールドの大学で気候変動について教鞭をとっておられます。私の家から車で1時間余のその都市で大学や行政と連携

し、いろいろな環境活動をされているジョンさんが、どんなことをお話してくれるのかワクワクしながら参加しました。

彼の話はエネルギーを感じられる、力強いものでした。

私は、温暖化を抑止するために具体的な「自分ができること」のヒントが得られると思っていたのですが、彼のメッセージは全く違うものでした。ジョン曰く「政治家は頭がいい。その周りに優秀な科学者もたくさんいる。一人一人ができることは限られている。社会、世界を変えられる人をきちんと見極め、その人たちに自分のメッセージを伝え、行動してもらおう！」というもの。「その人たちを選ぶことこそ、私たちの責任だ」

私は頭をガンと殴られたようでした。私個人に何ができるか、ということで環境問題を捉えていた私。「個人の力でなく、社会の力でないと温暖化は止められない！」というメッセージ。では、次に何をするのか。

「周りの人にこの問題を知ってもらうことから始めましょう」。え、そんなことでいいの？という感じの私。話をしても解決にならないのでは？という私の意見は見事に玉砕。

スピーチの後のディスカッション。私のテーブルには4人。言語学の教授、農学部の教授、大学院生というメンバー。多様な人から「大学としてこんな活動をしている」「活動の輪を広げることが、私たちにできること」など、いろいろな意見が出ました。私は、初めてデモをする人の気持ちがわかったような気がしました。政治についてのデモだけがデモではありませんよね。「仲間を増やすこと」が環境問題を解決する一歩なのかな、と考えさせられた時間でした。

## □ 当センター主催の市民参加イベント結果 3月

家庭の省エネ・節電アドバイス講座 3月4日 ふれあいプラザ

電気・ガス代を節約するためには何に注目するべきか、またその対策が気候危機抑止のためにも必要であることを事例紹介を交えて解説。小冊子「家庭の省エネ簡易診断」解説や温暖化防止啓発ビデオ視聴、「おおつエコライフチャレンジ」の実画面を用いた紹介により構成。講師はおおつ環境フォーラムの3人が担当。参加13人





## □ 当センター発行冊子のご紹介 2022年度

大津市地球温暖化防止活動推進センターは、2022年度、下記冊子を企画・編集し発行しました。ご希望の皆さまに無償でお渡しします（送料はご負担ください）。詳細は当センターまでお問い合わせください。 ☎ 077-526-7545 ✉ info@otsu.ondanka.net メールはこちら▶▶▶



### 事業所の省エネ簡易診断

2022年度版 A4判 12ページ

中小事業所の省エネ度を見える化するための小冊子です。地球温暖化の影響やその対策を事業所経営の改善につなげる観点から解説するとともに、改善度を自己診断できるようにしています。空調や照明、自動車、EMS、再エネ導入などについてお金をかける対策、かけない対策を採り上げていきます。



自己診断のページ

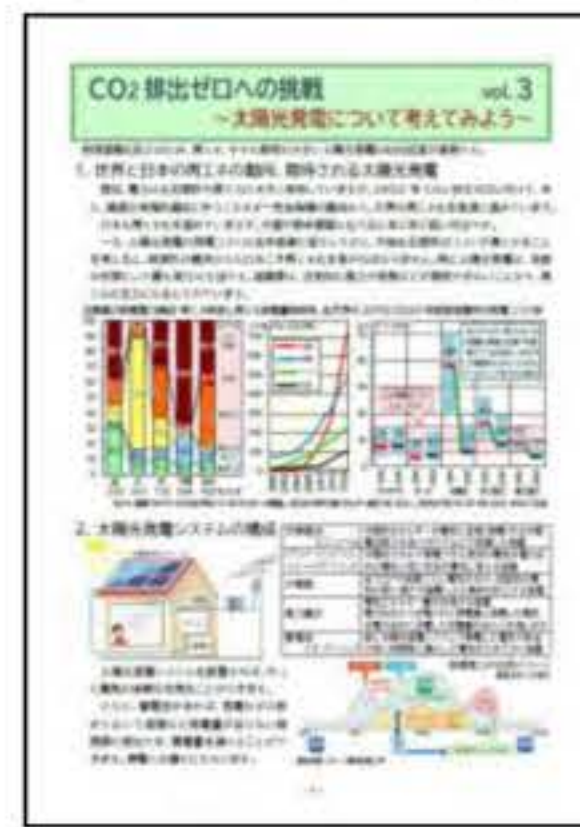
### CO<sub>2</sub>排出ゼロへの挑戦

Vol.3 Vol.4 各A4判 4ページ

脱炭素社会に関する情報を盛り込んだ小冊子シリーズです。2021年度から発行継続しています。

Vol.3「太陽光発電について考えてみよう」；最も導入しやすい再エネ「太陽光発電」設置に関する基礎知識を解説。

Vol.4「電気自動車について考えてみよう」；乗用車のCO<sub>2</sub>排出削減の切札「EV」の特長と課題の解決策について解説。



Vol.3



Vol.4

## □ イベント案内 7月～9月

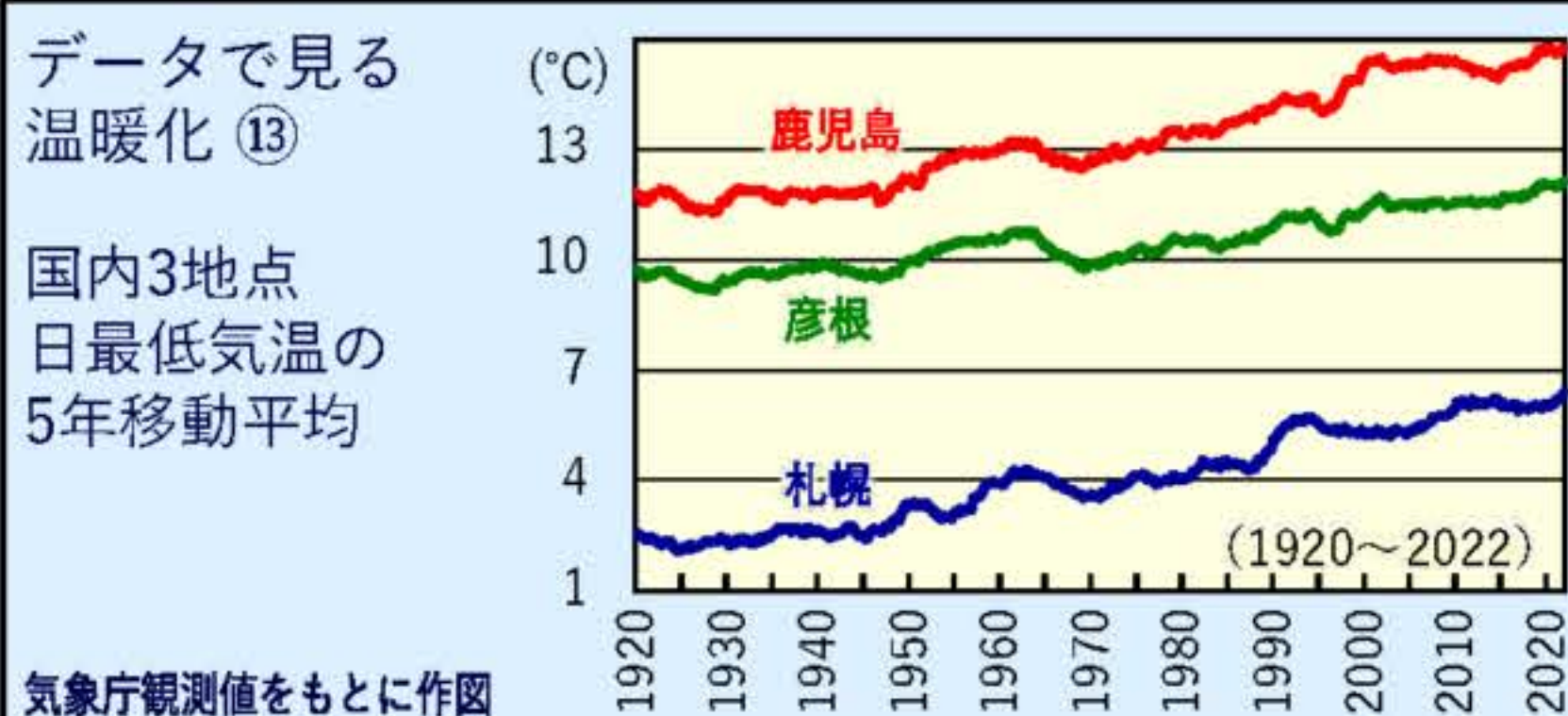
参加ご希望の方は、開催の10日前までに当センターまでお申し込みください。  
対象；おおつ市民環境塾は一般市民、自然家族事業は4歳～小学生の児童とその保護者

	<b>7月1日(土) 10:00～12:00</b> 大津市環境美化センター（上別保） おおつ市民環境塾 講座3 <b>大津市環境美化センター施設見学</b> 新しく建て替えられた環境美化センターを見学し、ごみ問題について考えます。
	<b>7月15日(土) 14:00～12:00</b> ふれあいプラザ（浜大津） おおつ市民環境塾 講座4 <b>生物多様性ってなんだろう</b> 京都大学大学院地球環境学堂准教授 深町加津枝氏の講演
	<b>7月29日(土) 10:00～12:00</b> びわ湖大津館（柳が崎） 予備日7月30日 自然家族事業 <b>びわ湖の日1 湖の学校</b> 生物多様性を支えるプランクトンや底生生物を採集・観察します。
	<b>8月26日(土) 10:00～12:00</b> 大石緑地スポーツ村（大石） 予備日9月3日 自然家族事業 <b>川の日2 大石川で生き物さがしをしよう</b> 生き物さがしをして生き物に親しみ自然環境について考えます。
	<b>9月9日(土) 14:00～12:00</b> ふれあいプラザ（浜大津） おおつ市民環境塾 講座5 <b>琵琶湖の生物多様性とその保全</b> 琵琶湖環境科学研究センター総合解析部門専門研究員 井上栄壮氏の講演
	<b>9月30日(土) 10:00～12:00</b> オーパルオプテックス（雄琴） 自然家族事業 <b>びわ湖の日2</b> びわ湖でのカヌー体験やプランクトン観察を通じて、家族で自然に親しみます。

**申し込み不要**  
**おおつエコフェスタ2023**  
8月6日(日) 10:30～15:00  
ピアザ淡海（におの浜）



多くの団体が出展する会場にて家族で楽しく環境を学習します。体験・学習ブース、グルメブースやステージイベント、シールラリーもあります。



発行  
大津市地球温暖化防止活動推進センター  
(特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム)  
520-0047大津市浜大津4-1-1明日都浜大津4F  
Tel：077-526-7545  
E-mail：info@otsu.ondanka.net  
HP：https://otsu.ondanka.net/  
編集責任：西山克己

